

討議資料

岐阜県議会議員

# 山田まさる県政報告

人・地域・心の輪をつなげる

山田優県政報告第2号  
平成26年3月28日発行  
羽島市江吉良町311  
オクシンシティ1階  
TEL: 058-392-0720  
FAX: 058-392-0721  
発行人: 山田 まさる

## 岐阜県議会定例会一般質問

平成二十六年第一回岐阜県議会定例会ではスポーツ振興について一般質問をさせて頂きました。

二〇二〇年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるとともに、東海環状自動車道の西回りが完成し全線開通が予定されている年でもあり、また二〇一六年には岐阜県において第七〇回全国レクリエーション大会が開催さ



3月6日の一般質問

れることが決まっております。

これらに向けた取り組みを全庁的に推進するため『清流の国ぎふ2020プロジェクト推進本部』が設置されました。推進すべきプロジェクトとして『2020東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト』では、飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの活用、岐阜県選手の強化、県内スポーツ施設の活用、観光誘客などが挙げられ、『2020東海環状自動車道活用』プロジェクトとして、企業誘致や観光誘客に取り組み、また『二〇一六全国レクリエーション大会岐阜大会』プロジェクトでは大会開催に向けた調査や実施体制・開催計画の構築などに取り組みむこととしています。

### 岐阜県予算

岐阜県の予算ですが、予算規模としては対前年度予算比では二年

連続の増額予算であり、今年度は七千五百三十七億九千万円で前年度の平成二五年度は七千四百六十三億円でしたので、約七十五億の増額であり、これまでの行財政改革の取り組みによって構造的な財源不足は解消され財政状況は健全化に向っています。しかしながら社会保障制度改革の行方や、将来の金利動向、老朽化した社会資本への対応など多くのリスク要因があることから、引き続き歳入・歳出の両面にわたり行財政改革に取り組み、節度を持って財政運営に努めていく必要があるかと思えます。

### 大規模震災対策用資機材等の整備



被災後の停電した避難所  
(後ろに大型バルーン投光機が)

東日本大震災における経験と教訓を踏まえ、岐阜県において懸念

される南海トラフ大地震等の大規模震災の発生への備えを万全とするため、救出救助・捜索・非難誘導活動等に必要となる装備品や資機材、食料の備蓄整備が課題となっているため、災害現場において救出救助活動等を昼夜を問わず継続して実施するための野営用資機材や大型バルーン投光機、食糧等(レトルト米、飲料水、小型テント等)を整備することで大規模災害への備えを図るための予算として七百八十九万六千円計上。

### グローバル人材育成に向けた授業等の改善

グローバル化が急速に進展する中、外国語による実践的なコミュニケーション能力や異文化を理解する力を身に付け、様々な分野で国際的に活躍できるグローバル人材の育成が求められている。

小・中・高等学校を通じて、外国語による実践的なコミュニケーション能力の向上を図る教育を推進する。また、児童生徒が積極的に英語を使う機会の充実を図るとともに、自らの考えや意見を発信できる態度や実践的なコミュニケーション能力等を育成する。予算

として三千三百八十万円を計上。  
**医師・看護師の確保**

岐阜県はこれまで岐阜大学医学部入学生定員の地域枠設定に併せて医師免許取得後に一定期間を県内医療機関に勤務することを条件とした医学生修学資金貸付制度を創設するなど、医師の方の確保対策に積極的に取り組んでいます。現在、貸付制度と岐阜県医師育成・確保コンソーシアムとの一体的な運用により、三十七人の医師が県内で勤務をしている状況であり、今後必要な対策を講じる必要があります。

岐阜県の長期構想における目標である、人口十万人あたり、医師数二百十人（平成二十八年度）を目指し、岐阜県医学生修学資金貸付の継続によって、県内で勤務をする医師の確保をするとともに、県内外の医学生の県内就業の促進を行なっています。

また、医療の高度化、専門化及び、高齢化社会の進行等に伴って、医療ニーズの増大により、看護師等の不足が問題になっています。その中で、結婚や育児などの理由

によって就業していない潜在看護師等の再就業の促進や看護師等の離職防止が重要な課題となっています。

そのために、再就業のための支援や、子育てをしながらでも安心して働くことができるよう就業環境の改善を図ることにより看護師材の確保を図っていきます。

### 特別支援教育の充実

現在、岐阜県南部（羽島市、岐南町、笠松町、岐阜市柳津町、各務原市川島町）地域には特別支援学校が無く、大垣や長良まで長時間の通学を余儀なくされています。この地域への設立が求められてきました。岐阜県南部特別支援学校は、



岐阜県南部特別支援学校イメージ図

平成二十八年四月の開校を目指して現在正木町大浦区で工事が進められています。児童生徒数二百人で小学校から高校までの一貫した教育を行う施設です。

### 羽島市内の県事業



**一般県道 桑原―下中線**  
未着工部分 八神―石田の早期着工の要望書提出。

一般県道桑原―下中線バイパスは羽島市南部の発展に欠かせない重要な幹線道路であり、本路線の整備要望は二〇年以上前から行なってきたおり、本年度においては羽島市防災ステーションから下中町石田のT字交差点まで着工する運びとなった。しかしながら未だ羽島市防災ステーションから桑原町八神地内までの区間が未整備で

あり、桑原町住民が震災時に防災ステーションまで避難することが困難な状況となっています。

また、本路線は木曾川に架かる馬飼大橋を利用することにより、名古屋圏にも通勤、通学のために必要となる道路であり、羽島市全体にとっても有益な道路と期待がされています。また、既に地権者の皆様からも道路整備に了承を得ており、地元市議会議員の方や自治会長様を始め、関係者同席の上、早期着工の要望を行いました。

### 編集後記

今現在、岐阜県で、また羽島市でどんな取組みを行っているかを順次レポートしていきたいと考えております。この県政報告がその一助となればと考えております。



山田まさる事務所にお気軽にお立ち寄りください。